

## 【目次】

1. 講演会「ユニテリアン牧師・内ヶ崎作三郎と友愛会」を開催、4月3日！
2. 河上丈太郎も市川房枝も大山郁夫も佐々木ふさもユニテリアン？！
3. 働く文化ネットの労働映画鑑賞会が開かれる、4月13日！

### 1. 講演会「ユニテリアン牧師・内ヶ崎作三郎と友愛会」を開催、4月3日！



友愛労働歴史館は4月3日（月）14：00～16：00、労使関係研究協会と共催で講演会「ユニテリアン牧師・内ヶ崎作三郎と友愛会」を開催しました。講演会には労組現役幹部や労使研個人会員、日本労働ペンクラブ会員、日本女子大・成瀬仁蔵研究会会員、内ヶ崎作三郎ゆかりの人ら30名が参加しました。

今回の講演会は開催中の企画展「内ヶ崎作三郎—教育者・牧師・政治家の生涯—」（2017.01.06～06.30）と連動させたもので、当歴史館の間宮悠紀雄事務局長が「ユニテリアンの政界進出の背景を探る」とのテーマで、また労働運動史研究者の芳賀清明氏（友愛労働歴史館研究員）が「内ヶ崎作三郎と友愛会」のテーマで、それぞれ講演（報告）を行いました。

下記に二人の講演レジュメの一部を掲載いたします。それぞれの講演（報告）内容は略しますが、希望者にはそれぞれのレジュメ・添付資料（「友愛新報」第3号コピー、年譜、解説スライド「ユニテリアンの政界進出の背景を探る」など）をEメール添付で送付いたします。希望者は友愛労働歴史館までEメールで申し込んでください。

#### 講演①「ユニテリアンの政界進出の背景を探る」

友愛労働歴史館事務局長 間宮悠紀雄

1. 企画展「内ヶ崎作三郎」の3つのポイント
2. ユニテリアンとは、ユニテリアンの定義、ユニテリアン・ミッション（自由のための運動）
3. 教会解散後のユニテリアンたち
4. 政界に進出したユニテリアンたち（小山東助・永井柳太郎・星島二郎・内ヶ崎作三郎・安部磯雄・鈴木文治・河上丈太郎・松岡駒吉・市川房枝）
5. ユニテリアンたちが共有した想い  
「自由の拡張」「社会運動の解決」「ユニテリアン精神による理想社会の構築」

#### 講演②「内ヶ崎作三郎と友愛会」

労働運動史研究者 芳賀 清明 氏

1. 内ヶ崎作三郎とその周辺
2. 鈴木文治の「恩人」としての内ヶ崎作三郎
3. 友愛会を支えた内ヶ崎作三郎  
添付資料「内ヶ崎作三郎関連年譜」、「友愛新報」第3号コピー（一部）

## 2. 河上丈太郎も市川房枝も大山郁夫も佐々木ふさもユニテリアン？！

友愛労働歴史館が4月3日に開催した講演会で間宮悠紀雄事務局長は、「ユニテリアン教会から大正期・昭和前期に政界に進出したユニテリアンは7名（小山東助・永井柳太郎・星島二郎・内ヶ崎作三郎・安部磯雄・鈴木文治・河上丈太郎）おり、戦後の松岡駒吉と市川房枝を含めると、9名が国会議員になった」と報告。さらに「彼らの所属政党は異なるが、その理念・思いは自由の拡張、社会問題の解決、ユニテリアン思想による理想社会造りで共通していた」と続けました。



この報告では戦後、日本社会党委員長などを務めた河上丈太郎や、参議院議員として活躍した市川房枝もユニテリアンと言うこととなります。河上丈太郎はユニテリアン教会員とされ（今岡信一良牧師）、妻は牧師・平岩愼保の娘で内ヶ崎作三郎（早大教授、ユニテリアン教会牧師、政治家）の妻と姉妹です。

また、市川房枝は大正8年夏に上京し、統一基督教会（ユニテリアン教会）に所属（『市川房枝自伝』）し、後に友愛会婦人部書記を務めています。市川は同『自伝』で、「早稲田大学教授であった内ヶ崎作三郎、第一高等学校教授の三並良、小説家の沖野岩三郎の諸氏が牧師として説教していた。会員には、安部磯雄、大山郁夫、鈴木文治、松岡駒吉、佐々木ふさ氏らがいた」と記しています。大山郁夫は早稲田大学教授で、後の労働農民党の「輝ける委員長」。市川の記述を信じるならばユニテリアン教会出身の政治家は、大山郁夫を含め10名となります。



佐々木ふさは作家で、大正14年に芥川龍之介の媒酌で佐々木茂索（作家・文藝春秋社社長）と結婚。作家森まゆみは『断髪のマダンガール—42人の大正快女伝—』の「ささき ふさ—都市の高等遊民として—」で、洋装・断髪のマダンガール佐々木ふさと紹介しています。しかし、一方で第9回万国婦人参政権大会（大正12年・ローマ）に出席し、演説する女性でもありました。

なお、『なんでもわかるキリスト教大辞典』は「ユニテリアン」について、「キリスト教正統派教理の中心である三位一体論者に対し、キリストの神性の教理を否定して神の単一性（ユニテイ）を強調する人々。自由と理性と寛容を重んじ、権威への盲従を嫌う。自由主義神学の最先端。信者約50万人。ニュートン、ダーウィン、ナイチンゲール、バルトック、エマソン、ベル、ライト、タフト、ジョン万次郎、安部磯雄、内ヶ崎作三郎、市川房枝ら」と記しています。

## 3. 働く文化ネットの労働映画鑑賞会が開催される、4月13日！

NPO法人・働く文化ネットの第37回労働映画鑑賞会は4月13日（木）夕、連合会館会議室で開催されました。上映映画は『フツの仕事がしたい』（2008年、カラー70分）。なお、次回は5月11日（木）18:00～、「新・喜びも悲しみも幾年月」（木下恵介監督、加藤剛・大原麗子ら）。

「人間の尊厳、進歩と発達のために」

発行：友愛労働歴史館

責任者：徳田 孝蔵

担当者：間宮悠紀雄

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

Tel.050-3473-5325

Eメール [yuairedorekishikan@rodokaikan.org](mailto:yuairedorekishikan@rodokaikan.org) HP <http://www.yuairedorekishikan.com>

唯一館から123年、友愛会から105年